



LAB#: labno
PATIENT: patname
ID: patid
SEX: patsex
AGE: patage

DNAの酸化による損傷 ; 尿検査

	レンジ以内	レンジ以外	基準範囲	
8-ヒドロキシ- 2'-デオキシグアノシン	8h_in	8h_out	range8h ng/mg creat	この検査では進行中の酸化による損傷及び/または体内ストレスを測定。基準範囲を越えた数値は酸化による損傷/ストレスの上昇を示す。
クレアチニン	cc_in	cc_out	rangecc mg/dL	

DNAの酸化は直ちにグアノシン残留物にも生じるので、尿の8-ヒドロキシ-2'-デオキシグアノシン (8-OHdG) を測定することで酸化がDNAへ与える損傷を定量的に評価することができます。尿中8-OHdGは高感度の生体指標です。その上昇は膀胱ガン、前立腺ガン、嚢胞性線維症、アトピー性皮膚炎、関節リウマチ、さらにはパーキンソン病、アルツハイマー病とハンチントン舞蹈病など広範囲にわたる神経疾患を含め多くの疾患と関係しています。尿中8-OHdGの上昇も高血糖と関係しており、糖尿病患者ではHbA1c、腎症、及び網膜症と明確に相関します。DNAの酸化濃度の緩やかな上昇は、カロチノイド、抗酸化の豊富な食品、抗酸化サプリメントなどの摂取量の不足と関係します。

有毒な元素、有毒な化学物質、電離放射線及び生活習慣（喫煙、薬、若干の医薬など）のような環境要因は、DNAの酸化に関係する水酸基を通常より多く産生させます。内因性の抗酸化保護に関わる重要な成分は、細胞内グルタチオンです。細胞内グルタチオンの状態は、ドクターズ・データ社のグルタチオン分析で評価できます。

コメント:

採取日: 2014年5月16日
受付日: 2014年5月17日
終了日: 2014年5月19日

採取期間: 無作為
量:

>d:検出限界以下
検査方法: EIA

*研究目的の使用のみ。 診断への方法としての使用を禁止。

V9.09